

問 令和8年4月から公立小学校の給食が全国で無償化される見通しである。子育て支援・経済的負担の軽減、少子化対策、定住や転入の促進、教育の推進などが期待できる。

答 中学校給食についても、令和8年4月からの小学校給食無償化の実施に併せて、子育て支援と保護者の経済的負担軽減の観点から、町独自の中学校給食無償化を実施すべきである。

問 令和8年4月から公立小学校の給食が全国で無償化される見通しである。子育て支援・経済的負担の軽減、少子化対策、定住や転入の促進、教育の推進などが期待できる。

答 将来的に、全てのこどもとその家族を支えることができる安定した仕組みづくりが、安全で安心な住みよいまちづくりを進めることが可能である。

問 令和8年度から本格的に、現行の幼児教育・保育給付に加え、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず柔軟に利用できる制度が創設される。

答 自治体によって給食費が違い、その差額分は町が負担する。当町においては平均より上であります。そのためにも小学校の実施に伴い町立中学校の給食無償化を実施すべきである。

給食無償化



公明党
木村 晴恵議員



きょうの献立「たこ飯・たぬき汁他」

答弁 小学校に併せて
中学校給食の
無償化を
町独自で実施

稻美町議会との合同研修会

令和7年10月20日に稻美町議会と合同で「議員のなり手不足対策としての議員報酬の適正化」について、研修会を実施しました。

その後、播磨町議会の議員報酬のあり方等を検討するため、12月定期例会にて「議員報酬のあり方等検討特別委員会」を設置しました。これから、特別委員会の中で議論を重ねていく予定です。



問 町道古宮川端線（通称田中道）に隣接する町有地と町名義の公衆用道路が長年にわたり整備されていない。今後の活用は。

答 町道古宮川端線に隣接する公用道路の南北は、接続先の道路拡幅事業と併せて整備を図ることとしている。道路整備に必要な測量を実施しており、令和8年度に整備工事の着手を予定している。

問 浜幹線用地の残地である町有地の管理体制は。また、その他の町有地の管理体制は。

答 残地を含めた普通財産の管理体制は、年2回の定期的な草刈りを実施している。雑草の発生状況によつては随時対応を行うなど、適正な保全・管理に努めている。

問 古宮6丁目にある第一浄水場は、行政財産であるが、ゴミの仮置き場としての利用は。

答 地方公営企業法施行令の規定により、利用形態に問題ないと認められた場合は貸し付けるが、使用料の負担が発生する。



整備が期待される通称田中道

町管理地



チーム新星
おくだ としのり
奥田 俊則議員

答弁 整備工事を決定

通称田中道 周辺整備は

新公共交通



播磨町民の会
いた やりょうすけ
板谷 良祐議員

答弁 令和8年度
実証運行を実施予定

新たな交通システム の導入は

問 「播磨町地域公共交通計画」では、鉄道駅及びバス停から一定の距離がある公共交通空白地域を対象として、新たな交通システムの導入を計画しており、令和8年度に実証実施、令和9年度から導入となっている。住民が永らく待ち続けた新交通システムに期待するが、導入は計画通りで間違いないか。

答 令和8年度からの実証運行が可能だと考えている。

問 「播磨町地域公共交通活性化協議会」で既存交通事業者等との調整など合意形成を図り、実証運行計画書等を作成するため、実証運行開始は令和8年度下期からとなる予定である。

答 播磨町地域公共交通活性化協議会で協議していないため具体的に説明頂きたい。



交通空白地域対策を

な回答ができないが、無償運送（道路交通法の許可または登録を要しない運送）と公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）を検討中である。

問 交通空白地域の一部をカバーするもので、町負担金とランニングコストは大規模ではない。

答 現在の重要な交通施策である高齢者等タクシー料金助成事業以外の計画はない。

問 令和8年春オープンに向けての式典などの計画は。

答 4月6日にグランドオープンし、貸館等の通常業務を開始する予定である。3月に工事が無事完了したことを関係者に披露する竣工式と、施設の完成を祝い地域の皆さんにも見ていただくオープニングセレモニーを開催予定である。